

新中間処理施設整備に係る事業スケジュール(案)

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	
DBO方式	新中間処理施設整備基本構想策定 ○ごみ処理の基本方針 ○施設整備に係る基本事項 ○施設の概要 ○施設規模 ○処理方式 ○環境保全対策 ○施設の整備構想 ○事業方式 (仮称 基本構想検討委員会【有識者】) (整備検討会議【構成市町村等])		地域計画策定 ○対象地域 ○計画期間 ○基本的方向性 ○広域処理の検討状況 ○現状と目標 ○施設の目標 ○処理施設の整備 ○その他の施策 ○計画のフォローアップ ○事後評価	測量・地質・生活環境影響調査 新中間処理施設基本計画策定 ○基本条件 ○主要設備計画 ○エネルギー利用計画 ○敷地造成・外構計画 ○施設配置・動線計画 ○事業計画 ○見積仕様書作成	施設建設運営事業者選定・契約 ⇒総合評価落札方式を想定 (仮称 事業者選定委員会)	施設設計・建設				試運転等 ★ 供用開始	
	BTO方式		〔DBO方式と同じ〕		特定事業選定、PFI事業者選定・契約 ⇒総合評価落札方式を想定 (仮称 事業者選定委員会)		施設設計・建設 ⇒施設設置許可申請手続きが必要				試運転等 ★ 供用開始
【参考】 循環型社会形成推進交付金			地域計画事前協議 ■	地域計画提出 ◎	交付金事業期間 ⇒各年度当初に交付申請、各年度末に実績報告						

BTO方式
 ・特定事業の選定手続きが必要であり、DBO方式と比較すると事業者選定に時間を要する。
 ・施設建設の事業主体が民間であるため、廃棄物処理法に基づく施設設置許可申請手続きが必要となり、建設工事期間はDBO方式と比較すると時間を要する。

事業スケジュールはそれぞれの工程の標準的な期間をもとに作成したものである。